



多聞山 (写真提供: セツ浜 RC)

2024-2025 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2520

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

GOVERNOR:
Tsuyoshi SATO

4 月信 Vol.10
2025
APRIL

CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
環境月間によせて	3
平和の懸け橋! “感謝で一杯” 2024学年度 米山記念奨学生歓送会	4
2025国際協議会 出席報告	4
第46回バギオ訪問交流の旅、ポナペ島へバス寄贈	5
奨学生レポート、行事予定表	6
新入会員紹介・退会会員報告・寄付報告・お知らせ	7
編集後記	8



環境月間に寄せて

国際ロータリー第2520地区
2024-2025年度 ガバナー

佐藤 剛

Tsuyoshi Sato

環境汚染が言われ始めて随分経ちます。大きくは①地球温暖化、②海洋汚染、③水質汚染、④大気汚染、⑤森林破壊の5つということになります。日本人の大勢が環境汚染を意識し始めたのは1960年代に始まった④だったように記憶しています。四日市ぜんそく、光化学スモッグという言葉が映像と共に報道されました。それと前後して過去の③による「イタイタイ病」だとか「水俣病」等も広く知られるようになりました。経済発展と抱き合わせというか防ぎようのない事として、当初は放置されていましたが、生命を脅かす可能性どころか、汚染が原因で人間が死に至る事が事実として解明（証明）されるようになってから、人々は恐れおののき始めました。

そして1980年以降、様々な規制の条例や法律が整備され、是正（各種救済制度等も含め）の方向に向かうようになりました。それには1971年（昭和46年）発足の環境庁、その後、2001年（平成13年）に格上げされた環境省の果たしてきた役割が大きいと思います。日本国内では様々な法整備と教育が功を奏し、単純な例えで恐縮ですが、工場排水の垂れ流しなんてことはまず起こらなくなりました。化学製品の工場から食品工場まで、今、操業を続けている生産の現場から汚染物質が排出される可能性はまずないというレベルまで、この50年間で進展し、一度は目にしなくなった生物も最近では見ることも出来るようになりました。半面、間に合わず、絶滅の危機に瀕している種もある事は否めないと思います。

しかし、地球の国々が全て我が国のレベルであれば良いのですが、未だに工場排水はおろか下水すら垂れ流し状態の国も多く存在します。先日、カラチ（パキスタン）でのポリオワクチン投与に参加した仙台泉RC会員による報告会に参加しましたが、「映像で

ポリオワクチン接種の現場を見せる事は出来ませんが、臭いまではお伝え出来ません。」との事でした。臭いは硫化水素そのものであり、糞尿の臭いとは別次元の強い毒性を有するものです。街の大通りにその臭いが立ち込めている話を拝聴し、環境問題以前の住環境に心は打ちひしがれました。上下水道、ひいては飲料水の話から母体の健康、教育と、沢山の思いが脳内を巡り、貴重な時間を参加者一同共有することが出来ました。

環境問題とは人間（人類）がより良い、あるいはより豊かな生活を求めた代償だと、その時に久しぶりに思いました。逆に言えば、「より良い（豊かな）暮らしを享受している国」は、その結果に至る責任を取らなければならないという話に落ち着きそうです。日常の飲料水にさえ事欠く国に環境問題の話をしてもしようがなく、星の数ほど衣食住の選択肢がある国々こそが、汚染に対する責任を分担する必要があるのだと思います。

広大な国土を理由に、自己完結型で汚染を回避できるが如き話しぶりだった国もありましたが、①が顕在化してきたことによって、責任回避は困難になったと自覚するようになってきたのは進歩だと思います。経済の停滞を伴わずに環境を維持するというより、これ以上の悪化を阻むためには、豊かさを享受した時間の長い国ほど我慢をし始める必要があります。逆に、未だにきれいな水すら飲めない国は、衣食足りて礼節を知るようになってからでも我慢するのは遅くないのかもしれませんが。ロータリーでも最近よく話が出てくるequityの領分で環境問題は平等ではなく公正に取り組む必要があると思います。皆様はどうお考えになりますか？



環境月間に寄せて

佐沼ロータリークラブ

及川 昭宏

環境月間を理解しましょう

2022年RI理事会で決定された重点分野の1つです。天然資源の保全と保護を強化し、環境の持続可能性を高め、人と環境との調和を促す活動を支援することとなっています。

ロータリーは、天然資源の保全と保護を促進し、環境の持続可能性を高め、人と環境との調和を促す活動を支援しています。補助金やその他のリソースを提供し、地域特有のソリューションと革新を奨励しながら、気候変動と環境破壊の原因、およびその影響の削減に取り組んでいます。

人間は自然環境の中で生活し、資源を活用することで文明を築いてきました。農業、漁業、狩猟採集といった伝統的な生業は、環境の恵みに依存しています。一方で、都市化や産業の発展によって環境への負荷が増加し、大気汚染、水質汚染、森林破壊、気候変動などの問題が顕在化しているのが現代です。

特に20世紀後半から、経済成長を優先した開発が進められた結果、地球規模の環境問題が注目されました。化石燃料の大量消費による温室効果ガスの増加は地球温暖化を加速させ、異常気象の頻発や生態系の変化を引き起こしているとされ、さらに、森林伐採や海洋汚染などの影響で生物多様性が損なわれ、生物的には絶滅種も増加しています。

環境問題とロータリーのアプローチ

気候変動は、21世紀における最も身近に感じることが出来る環境問題の一つでしょう。産業革命以降、二酸化炭素やメタンといった温室効果ガスの排出量が増加し、地球の平均気温が上昇して

いるとされます。その結果、氷河の融解、海面上昇、異常気象の増加といった現象が発生し、世界中でその影響が広がっています。そして化石燃料や水資源の過剰な利用により、将来的な資源不足が現実のものとして問題視されています。特に水資源の枯渇は、すでに多くの国で問題となっており、持続可能な水の利用が求められています。また、森林資源の乱伐により砂漠化が進み、農地の減少も進んでいます。

人間の活動が環境に与える影響は他の生物と比較にならないほど多いものです。最近の話題ではマイクロプラスチックの生物への影響があります。細胞レベルに取り込まれていたという報告もあります。ロータリーとしてはクリーンキャンペーンなどに積極的に参加し、啓蒙活動をアピールすべきです。

私たちができる資源を有効に活用する循環型社会へのアプローチ方法は様々です。リサイクル・リユースの促進、食品ロスの削減、プラスチックごみの削減など、個人レベルでも取り組むことができます。これには各々の意識改革が不可欠です。これに企業、自治体が協力し、環境保護の重要性を伝える取り組みを周知・強化することで、必ずや持続可能な社会の実現が達成できます。

ロータリーとして環境問題対策への支援（リソースへの寄付など）やロータリアン個々の活動や行動が注目されています。特に環境教育は学校教育の中ではメジャーなものではないので子供たちへの教育を精力的に行うべきです。

未来はみんなで創り上げるものですから。

(株)清建 代表取締役副社長



平和の懸け橋！ “感謝で一杯” 2024 学年度 米山記念奨学生歓送会

米山記念奨学会委員会 副委員長 小野寺 勘治 (一関中央 RC)

米山記念奨学会の終了式が2月22日(土)、仙台市のホテルで開かれた。式には奨学生5人、カウンセラー及び地区関係者約20人が出席、奨学生はやや緊張した面持ちで席に着いた。

佐藤剛ガバナーは、奨学期間が終了した後も学友として、定期的な交流を続け、世界と母国との懸け橋となる人材になってほしいとエールを送った。奨学生には終了証が、カウンセラーには感謝状が佐藤ガバナーより手渡された。

桑原茂理事と山口淑子評議員からは奨学生に対し、「これから米山学友として活動してほしい」と今後の成長と活躍を期待する祝辞があった。

奨学生は各々、流暢な日本語で思いを込めて世話クラブやカウンセラーに感謝の気持ちを述べ、一層の飛躍を誓った。

昼食後は、加藤雄彦ガバナーエレクト、柴田茂ガバナーノミニ、早坂竜太ガバナーノミニ、デジグネートの方々から修了生に対してそれぞれ励ましの言葉が送られた。

最後に全員で記念撮影を行い、式を終了した。



2025国際協議会 出席報告

ガバナーエレクト 加藤 雄彦 (仙台 RC)

第1回本会議から最終日まで計7回の本会議が開催されました。その中で、マリオ・デ・カマルゴ会長エレクトは、力強く次のようなメッセージを発信しました。

「1に会員増強、2に会員増強、3に会員増強」

今回、従来のような会長テーマを設けませんでした。その理由は明確です。ロータリークラブの奉仕活動を支え、未来につなげるためには、何よりも会員増強が不可欠だからです。さらに、ステファニー・A・アーチック会長が提唱した行動計画、そして「3-year Rolling Goals」をクラブに着実に定着させることも、重要な目的として掲げられました。

RI 会長メッセージ：“Unite For Good” 「よいことのために手を取り合おう（団結しよう）」

当初、私は「会長テーマ」と「メッセージ」の違いが今ひとつ明確に理解できませんでした。しかし、ChatGPTを活用し、さらに同期のガバナーエレクトと深夜まで議論を重ねたことで、次のような結論に至りました。

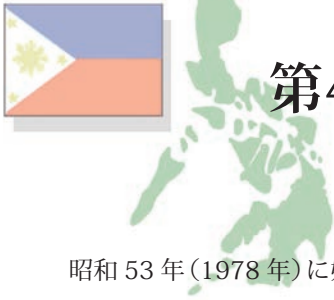
ロータリーは、クラブに対して4つの優先事項を実践するよう推奨しています。

1. より大きなインパクトをもたらす
2. 参加者の基盤を広げる
3. 参加者の積極的な関わりを促す
4. 適応力を高める

この行動計画を成功させるために最も重要なのは、従来の奉仕活動の枠にとらわれず、**革新的な行動を起こす**ことです。ロータリアンだけでなく、ロータリアンでない方々とも積極的にパートナーシップを結び、ロータリーの価値を広く認識してもらおう。そして、新たな仲間を迎え入れる。この強い願い、今回のメッセージには込められています。



RI 会長エレクトご夫妻と加藤 GE ご夫妻



第46回 バギオ訪問交流の旅

パストガバナー 山口 淑子 (盛岡滝ノ沢 RC)

昭和53年(1978年)に始まったバギオ訪問交流が、令和7年(2025年)も2月8～11日の日程で実施されました。第46回となります今回は、東京六本木 RC の浅田豊久会長をはじめ、鳥取県や沖縄県など全国から42名が参加しました。私は以前より、バギオ基金へ協力をしてきましたが、現地を訪れるのは初めてで、今回の交流の旅を通して活動をより深く知ることができました。

この活動は、シスター海野がフィリピンの日系人の子供たちへの教育支援活動を目的に始まっています。恒例の比国育英会バギオ基金の奨学金贈呈式や奨学生の実地訪問、シスター海野のお墓参り等に加え、今年は新たに「ランドセル贈呈」を行いました。「鹿児島サザンウインド RC」から98個、北陸信越のボランティアの方から220個、合計318個のランドセルをご寄付いただき、その一部を『タロイ・スール小学校』の児童たちに贈呈できました。子供たちのあふれる笑顔をおぼろげに忘れることはできません。

シスター海野のテーマ、「奨学金」「授業料」等の支援金は予め送金していますので、現地の贈呈式では交流を主たる目的としており、参加者一同現地学生たちとふれ合い、所期の目的を達成して全員無事に帰国しました。

バギオ基金では、留学生同友会報告を実施しております。また、贈呈いただいたランドセルの箱詰め作業などは浅田会長をはじめ会員で行いました。「バギオ基金」について、よりご理解を頂くために、卓話に伺わせていただいておりますので、ご希望のロータリークラブは基金事務局までお申し込みください。



南太平洋ポナペ島へ バスを寄贈



佐藤浩吉会員(岩沼 RC)が経営する「岩沼こばと幼稚園」で使用していたバスを、第2750地区10クラブとグアム RC の船舶会社の協力で南太平洋ポナペ島へ寄贈しました。佐藤浩吉会員は2025年1月29日(水)、第2750地区山の手西グループのインターシティミーティング(目黒雅叙園)にご招待され、感謝状を授与されました。(報告:岩沼 RC 幹事 半澤成貞)

※第2750地区は東京とアメリカ(グアム、サイパン)ミクロネシア連邦、パラオ共和国が所属しています。



奨学生レポート

ロータリー財団
グローバル補助金奨学金奨学生

遠藤 俊
Shun Endo

岩手県一関市出身。
研究先：米国立衛生研究所 (National Institutes of Health/ NIH)
研究テーマ：乳がん脳転移における新規治療の開拓
ホスト地区：第 7620 地区 (米国メリーランド州)
ホスト RC：Metro Bethesda

再選したトランプ政権の政策により、私が留学している米国立衛生研究所 (NIH) は、まるで大災害に見舞われているかのような状況にあります。雇用や研究資金の確保が急激に変化し、私のような留学生にも影響が及んでいます。新政権は NIH の予算を約 40 億ドル削減し、多くの研究プロジェクトが打ち切られています。2月には、NIH や疾病予防管理センター (CDC) を含む保健福祉省 (HHS) から 5,000 人以上の職員が突然解雇される事態が発生しました。私の身の回りでも、知り合いの研究者や部門の秘書が職を失うという厳しい現実に向かっています。日本では、このような大規模な人員整理は想定しがたい状況です。さらに、新規雇用の停止や移民政策の厳格化が進められており、NIH の発展を支えてきた海外研究者のビザ取得がますます困難になることが懸念されています。

一方で、トランプ政権は「ゴールドカード」プログラムを提案し、500 万ドル以上の投資を行う富裕層の外国人に対してグリーンカードを与える制度を検討しています。この政策により、資本力のある移民は優遇される一方で、学術・医療分野の優秀な外国人研究者の受け入れが制限される可能性が高まっています。

こうした政策に大きな影響を及ぼしていると思われるのが、政府効率化局 (DOGE) を率いる実業家のイーロン・マスク氏です。彼はかつて、自身が移民であることを背景に、移民の重要性を強調していました。しかし現在は政府予算の削減を支持し、研究機関への公的資金の縮小にも賛成の立場を取っています。これは、「官ではなく民間が技術革新を牽引すべき」という彼の考えに基づいており、市場主導による技術発展を重視しているためと考えられます。

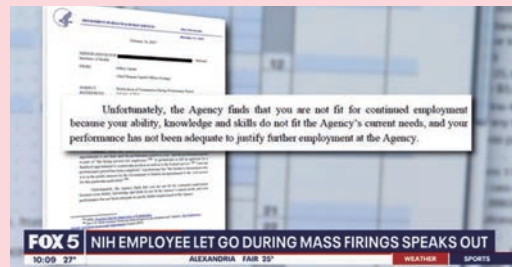
しかし、医学や基礎科学の分野では、民間資金だけでは成立

しにくい研究も多く存在します。例えば、新薬開発の初期段階や感染症対策の研究などは、短期的な利益が見込めないため、政府の支援が不可欠です。まさに NIH のような機関がその役割を担ってきましたが、資金削減が進めば、将来的な医療技術の発展にも深刻な影響を及ぼしかねません。特に、患者数が少ない希少疾患の研究はますます進まなくなるでしょう。

もともと、米国では資金獲得の競争が激しく、研究成果を短期間で求められる傾向があります。そのため、研究の進展は速いものの、資金が途絶えればプロジェクトや雇用が突然打ち切られるリスクも高い状況にありました。今後は、その傾向がさらに強まることが懸念されます。

また、NIH は研究予算を他の研究機関に分配する役割も担っているため、予算削減の影響は米国全体の研究力の低下や、研究者を志す若者の減少にもつながる可能性があります。

今回の留学は、単なる研究の機会にとどまらず、日本とは異なる環境での研究の進め方や制度の違いを理解する貴重な経験となっています。今後も、米国の変化を注意深く見守りながら、日本の医学研究の発展に貢献できる視点を培っていきたいと考えています。



1,000 人を超える NIH 職員に対し、週末に突如送られてきた解雇通知メールについて報じるニュース

2024-2025年度行事予定表(4・5月) 4月は環境月間です

日 程	行 事		場 所
4 月	6日(日)	会長エレクトラーニングセミナー (PELS)	宮城 仙台育英学園高校 (宮城野校舎)
	13日(日)	米山記念奨学会オリエンテーション	宮城 江陽ランドホテル
	13日(日)-17日(木)	規定審議会 2025	米国 イリノイ州シカゴ
	16日(水)	第2回ガバナーノミニラーニングセミナー (GNLS#2)	東京 JPタワー (東京丸の内)
	17日(木)-18日(金)	クラブ活性化セミナー 2025	東京 JPタワー (東京丸の内)
	18日(金)	第3回ガバナー会議、ガバナーノミニ・デジグネートセミナー	東京 JPタワー (東京丸の内)
	18日(金)	ガバナー・ガバナーエレクト・ガバナーノミニ情報交流会/組織連携委員会	東京 JPタワー (東京丸の内)
	18日(金)	地区大会記念ゴルフ大会	岩手 栗駒ゴルフ倶楽部
	19日(土)-20日(日)	地区大会	岩手 ブラザイン水沢、奥州市文化会館Zホール
	26日(土)	第4分区IM (山田RC)	岩手 山田町中央公民館小ホール
5 月	26日(土)-27日(日)	第12回全国インターアクト研究会・長野会議	長野 ホテルブエナビスタ
	10日(土)	R L I 研修パートⅢ	岩手 いわて県民情報交流センター (アイーナ)
	10日(土)-11日(日)	第17回全国RYLA研究会広島会議	広島 安芸ランドホテル
	11日(日)	次期ガバナー補佐会議	宮城 仙台育英学園高校 (宮城野校舎)
	11日(日)	地区ラーニングアセンブリー (DLA)	宮城 仙台育英学園高校 (宮城野校舎)
	17日(土)	佐沼RC60周年記念式典	宮城 ホテルサンシャイン佐沼
	24日(土)	第1分区IM (盛岡北RC)	岩手 ホテルメトロポリタン盛岡NW
	31日(土)	第9回日台親善会議	北海道 グランドメルキュール札幌大通公園

新入会員紹介

 高橋 政宏 2025.2.6 入会 生命保険	 西山 裕司 2025.2.1 入会 特殊法人社団	 亀井 政孝 2025.2.1 入会 芸術音楽	 千葉 照実 2025.2.1 入会 施設美容	 橋本 展行 2025.3.13 入会 社会福祉	 佐藤 忠春 2025.2.21 入会 建設仮設資材販売・工事	 佐藤 亜也子 2025.1.20 入会 建設・不動産
--	--	--	--	--	--	--

退会会員報告

クラブ	氏名	職業分類	退会日
大船渡 RC	菅野 朗	プロイラー	2025/3/31
大船渡 RC	谷口 僚基	生命保険	2025/3/31
石巻西 RC	松林 仁志	チップ製造業	2025/2/28
利府 RC	渡辺 敏	農園業	2025/3/3
仙台 RC	鈴木 祐太郎	貸しビル経営	2025/2/25
仙台 RC	田口 英之	旅行斡旋	2025/2/25
仙台泉 RC	石井 慎也	弁護士	2025/1/31
仙台青葉 RC	及川 毅	電気工事	2025/2/28

寄付報告 (2月)

ロータリー財団

認証	所属クラブ	氏名
メジャードナー	盛岡東 RC	柴田 茂
マルチプル・ ポールハリス・フェロー	仙台 RC	山田 章吾
	奥州水沢東 RC	安藤 早苗 <small>※ 2024年10月認証 (RIの手違いにより今月掲載します)</small>

ロータリー米山記念奨学会

表彰名	所属クラブ	氏名
米山功労者メジャードナー	仙台泉 RC	及川 起
米山功労者マルチプル	北上 RC	室岡 雅子



2024-2025 年度 国際ロータリー第2520地区 地区大会

2025年4月18日(金)-20日(日)

4月18日(金) 会場:栗駒ゴルフ倶楽部
記念ゴルフ大会

4月19日(土) 会場:プラザイン水沢
会長・幹事会 RI会長代理基調講演
RI会長代理歓迎晩餐会

4月20日(日) 会場:奥州市文化会館Zホール
本会議

RI会長代理講演 第1地域RPIC 寺嶋哲生 様
米山学友スピーチ ト英悦(ボウ インエイ)様
特別講演 講師 柴崎由紀 様

大会懇親会 会場:プラザイン水沢

4/19-20、ロータリー会員は齋藤實記念館、後藤新平記念館、宇宙遊学館を無料で見学できます。特に、齋藤實記念館では地区大会にあわせて、「ロータリーの国宝」といっても過言ではない品を特別展示いたします。ぜひ足をお運びください。
※受付で「ロータリー会員です」とお申し出ください。



Zホールロビーでは
奥州市出身の大リーガーと握手！
(3D制作の手)

RI 会長代理
寺嶋 哲生 様
(D2790 柏RC)

第1地域
ロータリー公共イメージ
コーディネーター
(2023-2026年度)



特別講演 講師
柴崎 由紀 様

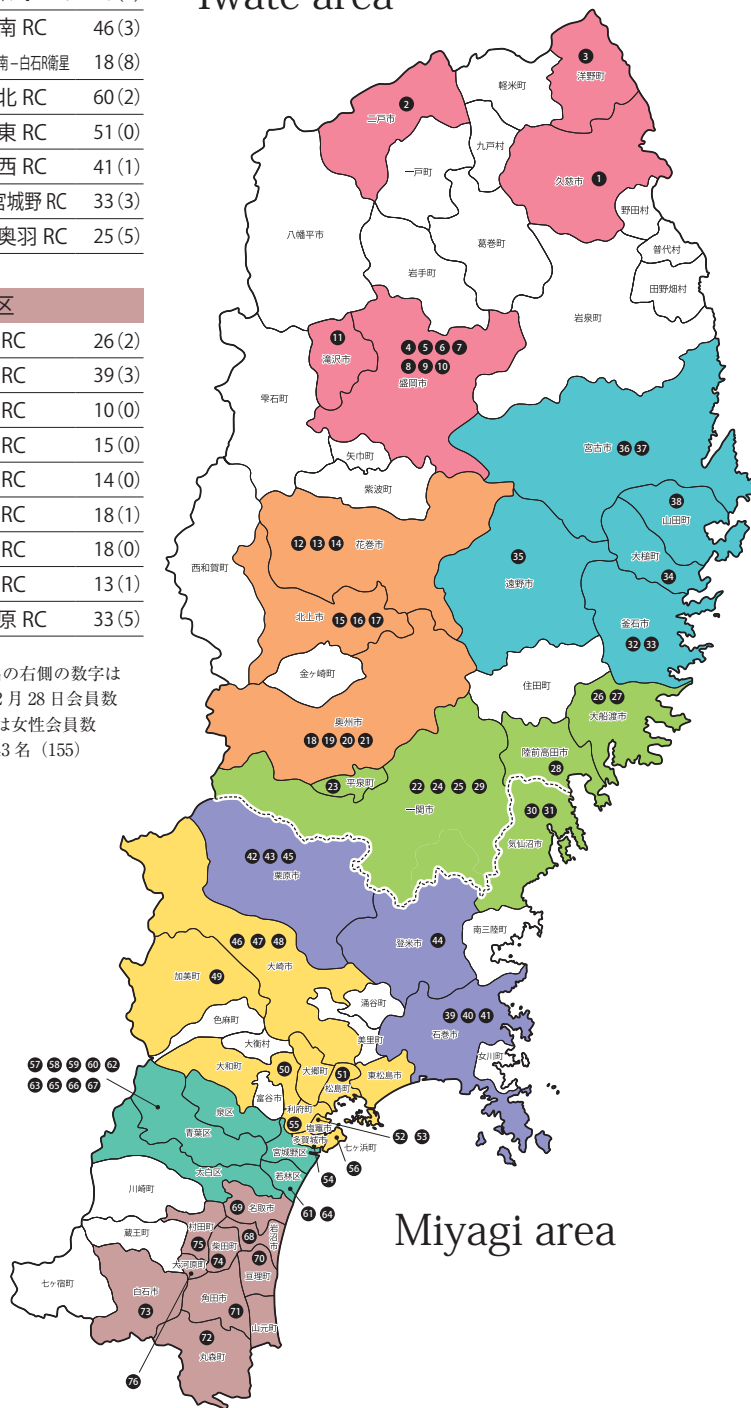
「米山梅吉ものがたり」
著者

国際ロータリー第70地区
地区大会等の貴重な映像を
みながら、1930年代の日本
とロータリーについて解説
していただきます。





Iwate area



Miyagi area

第一分区	会員数
1 久慈 RC	25 (1)
2 二戸 RC	46 (5)
3 種市 RC	17 (0)
4 盛岡 RC	70 (2)
5 盛岡北 RC	34 (3)
6 盛岡西 RC	16 (2)
7 盛岡南 RC	46 (1)
8 盛岡東 RC	25 (2)
9 盛岡中央 RC	23 (4)
10 盛岡西北 RC	43 (5)
11 盛岡滝ノ沢 RC	4 (3)

第四分区	会員数
32 釜石 RC	16 (1)
33 釜石東 RC	30 (3)
34 大槌 RC	6 (0)
35 遠野 RC	9 (2)
36 宮古 RC	27 (3)
37 宮古東 RC	21 (1)
38 山田 RC	21 (1)

第七分区	会員数
57 仙台 RC	124 (7)
58 仙台泉 RC	50 (1)
59 仙台青葉 RC	42 (0)
60 仙台冠 RC	17 (3)
61 仙台レインボー RC	10 (2)
62 仙台南 RC	46 (3)
↳ 仙台南-白石R衛星	18 (8)
63 仙台北 RC	60 (2)
64 仙台東 RC	51 (0)
65 仙台西 RC	41 (1)
66 仙台宮城野 RC	33 (3)
67 仙台奥羽 RC	25 (5)

第五分区	会員数
39 石巻東 RC	41 (0)
40 石巻西 RC	30 (2)
41 石巻南 RC	20 (1)
42 栗駒 RC	13 (1)
43 築館 RC	20 (2)
44 佐沼 RC	56 (6)
45 若柳 RC	25 (6)

第八分区	会員数
68 岩沼 RC	26 (2)
69 名取 RC	39 (3)
70 亶理 RC	10 (0)
71 角田 RC	15 (0)
72 丸森 RC	14 (0)
73 白石 RC	18 (1)
74 柴田 RC	18 (0)
75 村田 RC	13 (1)
76 大河原 RC	33 (5)

第六分区	会員数
46 古川 RC	43 (4)
47 古川東 RC	41 (1)
48 岩出山 RC	11 (1)
49 加美 RC	15 (0)
50 大和 RC	5 (0)
51 松島 RC	5 (0)
52 塩釜 RC	27 (1)
53 塩釜東 RC	11 (1)
54 多賀城 RC	21 (2)
55 利府 RC	8 (1)
56 ケヶ浜 RC	13 (0)

※クラブ名の右側の数字は
2025年2月28日会員数
()内は女性会員数
合計 2,043名 (155)

第二分区	会員数
12 花巻 RC	31 (2)
13 花巻南 RC	31 (1)
14 花巻北 RC	42 (2)
15 北上 RC	37 (3)
16 北上西 RC	19 (4)
17 北上和賀 RC	22 (4)
18 岩谷堂 RC	10 (0)
19 前沢 RC	11 (0)
20 水沢 RC	16 (1)
21 奥州水沢東 RC	31 (3)

第三分区	会員数
22 花泉 RC	10 (2)
23 平泉 RC	10 (0)
24 一関 RC	13 (1)
25 一関中央 RC	15 (6)
26 大船渡 RC	30 (2)
27 大船渡西 RC	33 (5)
28 陸前高田 RC	17 (0)
29 千厩 RC	23 (2)
30 気仙沼 RC	19 (0)
31 気仙沼南 RC	36 (2)

今年度は、地区内のクラブが紹介する“地域のステキな場所・モノ”の写真をクラブに提供していただけます。そして写真を提供してくれたクラブの紹介をいたします。

多門山 (たもんざん) 宮城県宮城郡七ヶ浜町

多聞山は日本三景の松島を臨み、東松島市の大高森や松島町の富山・扇谷と並んで、松島四大観のひとつに数えられる景勝地です。多聞山では松島の島々や水平線を望むことができます。

クラブ紹介 七ヶ浜 (しちがはま) ロータリークラブ

七ヶ浜ロータリークラブは、塩釜東ロータリークラブをスポンサークラブとして1993年3月20日創立されました。会員数は13名で、七ヶ浜国際村を例会場としております。七ヶ浜町内に明治の頃より続いている外国人の避暑地があり、町民との国際交流は盛んであり、その交流イベントにロータリークラブも参加・協力しております。当クラブも会員増強が早急な課題となっております。

編集後記

桜前線の便りが聞かれるようになってきました。今月はいよいよ地区大会が開催されます。あと何日と数えながら慌しく準備に追われております。

3月19日東京でのロータリーの友委員会地区代表委員合同会議に参加しました。その時に四国のガバナーから第2520地区の大会への登録を報告されました。また、鹿児島県奄美市の会員から登録の連絡をいただきました。遠方からのご参加を伺い、とても嬉しく思います。記憶に残る地区大会にしたいと思っております。どうぞ多くの皆様のご出席を賜りますようお願いいたします。(月信担当幹事 千田弥生)